



1年学年だより

発行日：令和5年1月31日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 9

“Only One” になるために

校長代理 富樫 哲一

南高等学校附属中学校では、校長代理が1年生の一人一人と面談をする機会があります。これは開校以来続いており、本校の伝統の一つとなっています。目的としては、校長代理との面談をとおして、生徒一人一人が自分が受け入れられているという実感をもってもらうため、別の言い方をすれば、生徒が安全・安心できる環境を作るための教育活動の一つとして行っているものです。

12月から始まって現在も続いているのですが、管理職となってからは、生徒と1対1で話す機会がなかなかないため、面談が行われる日の昼休みや放課後をいつも待ち遠しく思っています。

さらに今年度は校長代理面談に加えて、学年の先生方と相談して1年生の4クラスで特別講座としてもう少し話す機会をもらいました。自己紹介を含めて1クラス20分ほどの短い時間ではありましたが、10数年ぶりの「授業」ということで少し緊張してしまいましたが、生徒の皆さんに助けをもらいながら、何とか無事に終わることができました。助けてくれた1年生の皆さん、どうもありがとう！

さて、今回の学年だよりでは、1年生に行った特別講座の内容を2年生や3年生にも伝えたいと思います。1年生の皆さんは、復習のつもりで読んでもらえたらと思います。

今回の講座で伝えなかったことは、「“Only One” になるためにはどうしたらよいか」ということです。私は、世間では「“No.1” を目指すのではなく、“Only One” を目指そう！」とよく言われるのですが、では実際にはどうすればよいかということ具体的に教えてくれることがないような気が普段からしていました。

私が1年生の皆さんに提案したのは、「色んなことにチャレンジして様々な経験を積んだり、知識を増やすことで、“Only One” を目指してはどうか」ということです。例えば、保育士という仕事について考えてみると、保育士としての仕事ができることに加えて、英語を書いたり話したりすることができれば、外国人の方のお子さんを保育することも可能になったり、海外で保育士の仕事をする可能性も生まれます。さらに、会計や法律の知識もあれば、将来的には自分の保育園を経営することだってできるかもしれません。式にすると、

$$(\text{保育士}) = (\text{保育の知識や経験}) \times (\text{英語}) \times (\text{会計}) \times (\text{法律}) \times \dots$$

ということになるのでしょうか。このかけ算の項が増えるたびに、自分の希少性が高まることは間違いありません。つまり、“Only One” にどんどん近づくことができると考えることができるのではないのでしょうか。

もちろん、皆さんが何かの分野で No.1 を目指そうとすることを否定するものではありません。この話を、皆さんのこれからの生き方の一つのサンプルとして考えてもらえたらうれしいです。

不言実行

タイトルは一年生の書初めのお題です。それぞれの教室に力強い作品が飾られていました。初めて行書体で書初めを書いた人もいたのではないのでしょうか。広辞苑によると、不言実行とは「あれこれ言わず、黙って（善いと信ずるところを）実行すること」だそうです。2023年、皆さんは附属中二年生になります。後輩から尊敬されるような素敵な先輩になれたらいいですね。以下、各クラスの金賞受賞者です。おめでとうございます。

☆金賞受賞者☆

1組	さん、	さん、	さん、	さん、	さん、
2組	さん、	さん、	さん、	さん、	さん
3組	さん、	さん、	さん、	さん、	さん
4組	さん、	さん、	さん、	さん、	さん

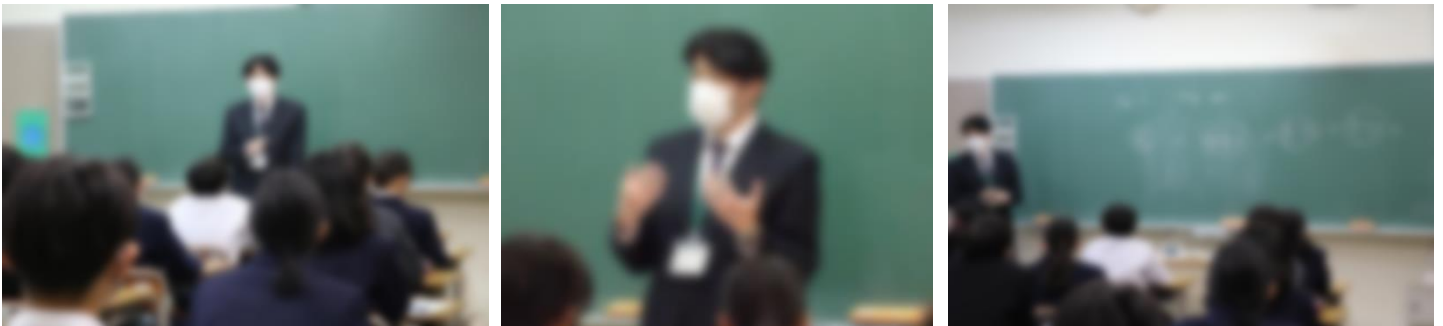


みちをのつばやき「他人の幸せを喜べる人っていいよねえ」

1月はお世話になっている先生方の誕生日がたくさんありましたね。それぞれのクラスでお祝いをしている様子を見て、見ている自分も嬉しい気持ちになりました。（人を喜ばせる行動は伝染するんですね。）「他人の幸せと一緒に喜んだりお祝いしたりする」行動は、とてもステキな行動です。11期のみんなには、これからもずっとそんな行動を大事にできる人であってほしいなと思います。

No. 1 より Only one

10月から行われている道徳リレー。普段は各クラスの担任が道徳の授業を受け持っていますが、この期間は学年の先生が交互に授業を担当しています。1月16日(月)と23日(月)の二週に渡って、富樫校長代理先生から「校長代理先生とはどういう職業なのか」というお話と先生自らの体験を元に「No.1 より only one を目指そう」というお話をさせていただきました。みなさんはお話を聞いてどのようなことを考えましたか？ある分野の一番を目指すよりも、自分のできることや経験を増やすことで、いろいろな掛け算をして自分を ONLY ONE の存在にしていけるといいですね。以下、各クラスの振り返りです。



1組 ■■■ さん

陸上で、No.1 になることはすごい難しいことかもしれないけど、Only one になるためにいろんな種目にチャレンジしていくことを目標にしたらもっと前向きに取り組めそうだと思います。色んなことにチャレンジしてできることを増やして行って、どんどん自分に自信をつけていきたいと思いました。

2組 ■■■ さん

1つの事に集中するのではなく、さまざまなことにも興味を持つてできるようになると、他人とは違った個性が出ると聞いて、自分は1つの事に集中しておいた方がいいと思っていたので、そういう考え方もあると知り、自分の考えが深まった。

3組 ■■■ さん

今まで、1番じゃなきゃ目立たないし、1番の人にあこがれていたけどそんなの到底無理だと思っていた。また、自分にそんな1番になれることはないし、好きなことでも上には上がたくさんいて、頑張る意味ってなんだろうとずっと考えていた。でも今日のお話を聞いて、順位だけ考えずに、かけ算すれば Only one になれると知った。だから、1番になるとかそんなことは考えず、とにかく自分の全力をつくしていろいろなことをがんばりたいと思うことができた。

4組 ■■■ さん

今まで自分は完璧であることを求めすぎていて、自分にノルマを高くつけて苦しくなっていて、最近それに気づいたがなかなか変われなかった。でも富樫校長代理先生のお話を聞いて、自分のやれることから色々やってみて、オンリーワンの存在を目指せばいいのかなと少し思えるようになった。